

「特別の教科 道徳」 (道徳科)

の実施に向けて 【中学校用】

「道徳の時間」が「特別の教科 道徳」(道徳科)に変わります。

中学校は、平成31年度から全面实施です。

どうして、教科化されるのかな？



- 歴史的経緯に影響され、道徳教育そのものを避けてしまう風潮がある。
- 他教科に比べて軽視されがちである。
- 読み物の登場人物の心情理解だけを行うような、形式的な指導が見られる。
- いじめの問題から、子どもの心身の発達に重大な支障が生じる事案が発生しており、道徳教育を充実させる必要がある。

主な変更点



1. 目標を明確で理解しやすいものへ改善
2. 道徳教育と道徳科の目標の関係を明確化
3. 内容を体系的なものに改善
4. 指導方法を多様で効果的なものへ改善
5. 評価の充実
6. 道徳教育の全体計画（別葉）・指導要録

1. 道徳科の目標を理解しやすいものに改善

【道徳科の目標】

道徳科が目指すもの

道徳的諸価値についての理解を基に

自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え

人間としての生き方についての考えを深める学習を通して

道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる

よりよく生きるための基盤となる道徳性を養う

目標には、道徳性をどのように養うのかについて、順序立てて分かりやすく明記されています。



2. 道徳教育と道徳科の目標の関係を明確化



これまで「道徳教育」と「道徳の時間」の目標の関係は分かりにくいものでした。
それを、関係が明確になるように改善しました。

目標の関係

道徳教育の
目標

道徳科の
目標

目指すもの

よりよく生きるための基盤となる道徳性を養う

道徳教育の目標と道徳科の目標ともに、目指すものは、同じですね。



3. 内容を体系的なものに改善

(1) 道徳科の内容 四つの視点



四つの視点は、自分自身のことから、徐々に広がっていくイメージで設定されています。

A 主として自分自身に関すること

B 主として人との関わりに関すること

C 主として集団や社会との関わりに関すること

D 主として生命や自然, 崇高なものとの関わりに関すること

(2) 道徳科の内容項目数と内容を表すキーワード

【内容項目数】

	旧項目数	新項目数
小学校第1学年及び第2学年	16項目	19項目
小学校第3学年及び第4学年	18項目	20項目
小学校第5学年及び第6学年	22項目	22項目
中学校	24項目	22項目

体系的



24の内容項目のうち、一部統合されたり、分化されたりして、生徒の発達的特質に応じた22の内容項目にまとめられました。

小学校から中学校までの内容項目が系統的・体系的に示され、指導内容が明確になるように、内容を端的に表す言葉(キーワード)が示されています。

A 主として自分自身に関すること

[自主, 自律, 自由と責任][節度, 節制][向上心, 個性の伸長] 等それぞれの内容に関連性をもたせ、発展性を考慮した指導が重要です。



あれっ?道徳科は年間35時間なのに、35項目ないけど、どうして?

学校では、重点指導項目が設定してあります。目指す生徒像を実現するために、その重点指導項目について、2回・3回と授業をして必要な力をしっかりと育成します。



4. 指導方法を多様で効果的なものに改善

「考え、議論する道徳」の授業を大切に

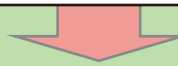


「考え、議論する道徳」ってこれまでと何か違うのかな？

「読み物・押し付け道徳」と指摘を受ける授業がこれまで見られました。

【これまで見られがちであった授業】

読み物道徳 : 読み物資料の登場人物の心情理解のみに終始する授業
押し付け道徳 : 望ましいと思われることや決まりきったことを言わせたり、書かせたりする授業



考え、議論する（交流する）

主体的に自分との関わりで考え、多様な考え方、感じ方と出会い交流することができる授業（主体的・対話的）



物事を一面的に捉えるのではなく、多面的・多角的に、自分との関わりで考えることができるような工夫が大切です。

【多様な指導方法（例）】

- ① 読み物教材の登場人物への自我関与が中心の学習
 - ・ 自分自身を見つめたり、人物に共感して自分との関わりで気持ちを考えたりする。
- ② 問題解決的な学習
 - ・ どのようなわけで大切なのか、どうすることが考えられるのかを見つめていく。
- ③ 道徳的行為に関する体験的な学習
 - ・ 具体的な道徳的行為の場面を想起させ追体験させて、実際に行為することの難しさとその理由、弱さを克服することの大切さについて考えていく。

- 上記の指導方法は一例であり、道徳科の指導方法はこれらに限定されるものではありません。これまでの指導方法のよさを十分に生かしつつ、これらの方法も組み合わせながら、授業づくりを行うなどの工夫が必要です。
- まずは、明確な指導観（価値観、生徒観、教材観）をもつことであり、生徒に確実に考えさせる、価値の自覚を深められる指導の過程を大切にしましょう。

平成31年度より検定教科書が導入されます！

5. 評価の充実

生徒の学習状況や道徳性に係る成長の様子を継続的に把握し、指導に生かすよう努める必要がある。ただし、数値などによる評価は行わないものとする。

(学習指導要領「第3章 特別の教科 道徳」の「第3 指導計画の作成と内容の取扱い」の4)

道徳性の評価ではない

- ※ 道徳性は、人格の全体に関わるものであり、数値などによって不用意に評価してはならない。
- ※ 1時間の道徳科の指導で生徒に道徳性が養われたか否かを評価することは困難である。
- ※ 道徳科の評価は調査書には記載せず、入学者選抜の合否判定に活用することのないようにする。

(1) 道徳科の評価のポイント

- 学習活動における生徒の具体的な取組状況を、一定のまとまりの中で、学習活動全体を通して見取る。
- 個々の内容項目ごとではなく、大きくりなまとまりを踏まえた評価とする。
- 他の生徒との比較による相対評価ではなく、生徒がいかに成長したかを積極的に受け止めて認め、励ます個人内評価として記述式で行う。

観点別評価ではなく、個人内評価として丁寧に見取ることが大切です。

(2) 評価の視点と方法 (例)

評 価 の 視 点	方 法
<p>◆ 一面的な見方から多面的・多角的な見方へと発展させているかどうか</p> <ul style="list-style-type: none">・ 道徳的価値に関わる問題に対する判断の根拠等を様々な視点から捉え考えようとしている。・ 自分と違う立場や考え方や感じ方を理解しようとしている。	<ul style="list-style-type: none">○ 記述等から見取る。<ul style="list-style-type: none">・ 発言 (ノート・ワークシート)・ 感想文・ 質問紙 等○ 観察等から見取る。<ul style="list-style-type: none">・ 表情や態度・ 面接 等 <p>※ 発言や記述ではない形で表出する生徒の姿に着目することも重要</p>
<p>◆ 道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めているかどうか</p> <ul style="list-style-type: none">・ 読み物教材の登場人物を自分自身と重ね合わせて考え、これまでの自分自身の経験やそれに伴う考え方や感じ方を基に考えている。・ 道徳的価値を実現することの難しさを自分事として捉え、考えようとしている。	

生徒の学習の過程や成果などの記録を計画的に蓄積したり、生徒自身のエピソードを累積したりすることが大切です。

※ 「『特別の教科 道徳』の指導方法・評価等について(報告)」は、文部科学省のホームページよりダウンロードすることができます。

*キーワード入力による検索の場合

文科省 道徳科 指導と評価

検 索

*URL入力の場合

http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shotou/111/houkoku/1375479.htm

6. 道徳教育の全体計画(別葉)・指導要録について

平成31年度までに、次の準備を行いましょ。

(1) 道徳教育の全体計画(別葉)の作成

道徳教育の全体計画の作成に当たっては、「各教科、総合的な学習の時間及び特別活動における指導の内容及び時期を示す」必要があります。



第3学年 (別葉の例)		国語	社会	数学	理科	英語
A 主として自分自身に関すること	自主、自律、自由と責任	「批評する言葉」についての筆者の考えを読み取り自分の考えを深める。(7月)	基本的人権と個人の尊重について、工夫している取組等を見つける。(7月)		持続可能な社会へ向け、地球とともに生きることについて考える。(3月)	
	節度、節制					
	向上心、個性の伸長	詩の中の言葉や表現から作者の思いを捉え、自分の可能性について考える。(1月)		身の回りの問題を、平方根を利用して解決する。(5月)		
	希望と勇氣、克己と強い意志					
	真理の探究、創造			対象となる集団から一部を取り出して、全体の傾向を調べる。(2月)	天体の特徴と宇宙の中の1つの天体である地球について調べる。(5月)	
B わりに関すること	思いやり、感謝	時代や社会の変化の中での、人と人との関わりについて考える。(9月)	社会保障のしくみや政府の役割について、人との関わりから考える。(11月)		生物の成長やふえ方、遺伝の規則性等、生命の連続性について考える。(4月)	Mother Teresa: マザーテレサの生き方について、自分の考えを伝える。(1月)
	礼儀					Speaking 2: レストランでの食事や会話を想定して、友達と対話する。(6月)

思いやりにかかわる指導

※ 別葉： 各教科等における道徳教育に関わる指導の内容及び時期を整理したもの。道徳教育に関わる体験活動や実践活動の時期等が一覧できるもの。

- 別葉の様式は、特に示されていないので、各学校で効果的に活用できるように、創意・工夫が必要です。
- 学校全体で、実施の状況等についてチェックできるように、一覧にして掲示するなど、組織的に取り組むための工夫が必要です。

平成30年度までに、各学校で別葉を作成してください。



(2) 指導要録への記入

教科化にともない、指導要録に道徳科の評価を記入することになります。

市町村教育委員会、各学校において、指導要録に道徳科の評価を記入できるように、道徳科の評価の欄を設けるなど、準備をお願いします。

〈参考文献〉

中学校学習指導要領(平成29年3月 告示)

文部科学省

中学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編(平成30年3月)

文部科学省

「特別の教科 道徳」の指導方法・評価等について(報告)(平成28年7月22日)

文部科学省